

# 健康経営の推進

従業員の安全と健康が事業活動の大前提であるとの認識のもと、一人ひとりが毎日充実して働くことのできる職場環境づくりを経営上の重要な課題として捉え、2021年8月に健康経営宣言を策定しました。

人は年齢を重ねるにつれて生活習慣病や重症疾患の発症リスクが高まります。また、メンタルヘルス不調の発生は組織全体の活性化や生産性に著しい悪影響を及ぼすことから、その未然防止や早期発見が重要です。こうした観点から、代表取締役社長を最高健康責任者とする健康経営推進体制を整備し、健康保険組合と一体となって一人ひとりの生活習慣改善やメンタルヘルス不調の未然防止に向けた総合的な取り組みを推進しています。

## 山陽特殊製鋼 健康経営宣言

当社は、従業員の安全と健康が事業活動の大前提であり、経営上の重要課題であるとの認識のもと、健康保持・増進について山陽特殊製鋼健康保険組合と一体となって総合的に取組み、従業員一人ひとりが毎日充実して働くことのできる職場環境づくりに継続して取り組むことを宣言します。

2021年8月

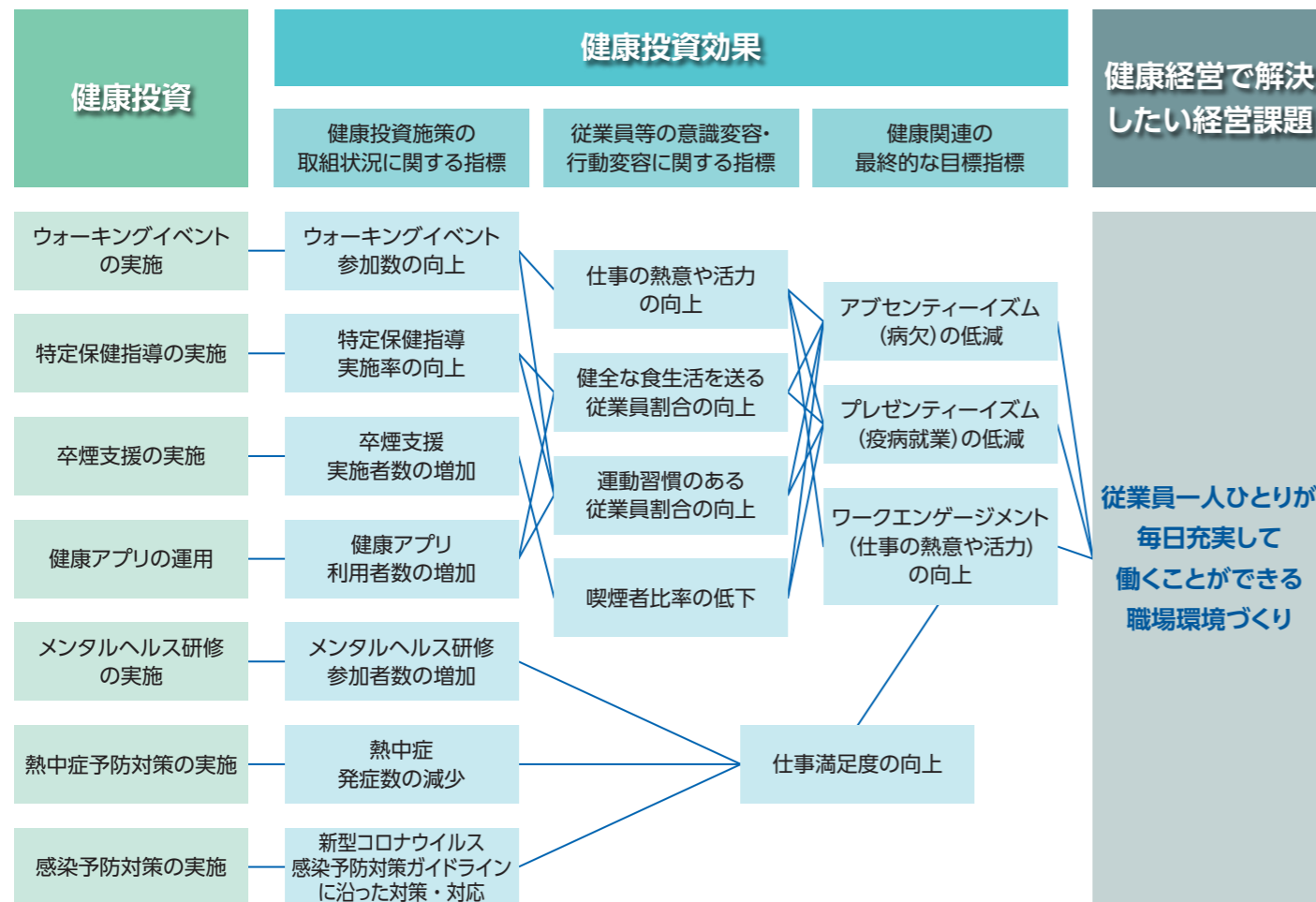
山陽特殊製鋼株式会社  
代表取締役社長 宮本 勝弘



ウォーキングイベント「SANYO WALK2022春」の参加者



### 健康経営 戦略マップ



### 健康経営推進に向けて

社員の心身の不調は、生産性の低下を招くだけでなく、場合によっては休職や離職など人材流出につながりかねません。社員には、法定の健康診断、メタボ検診、健康指導などを実施しているほか、2016年度から義務化されたストレスチェックを継続的に実施しており、社員の受検結果をもとに集団分析を行い、高ストレス者には産業医の面談を勧めています。このほか、メンタルヘルス相談窓口の設置や卒煙支援、食事制限のカウンセリングなども実施しています。

2021年8月には、更なる取り組みと継続的改善を推進するために、代表取締役社長を最高健康責任者とする健康経営推進体制を整備しました。継続的改善を行うための会議体として産業医、健康保険組合、労働組合を含めた健康経営推進会議を設置するとともに、各職場に健康推進役を配置し、「禁煙の日」の制定や、空調作業服の支給をはじめとする快適な職場環境形成、運動習慣定着を支援するウォーキングや健康チェックのイベント、健康に関する講演会の開催などの取り組みを推進しています。

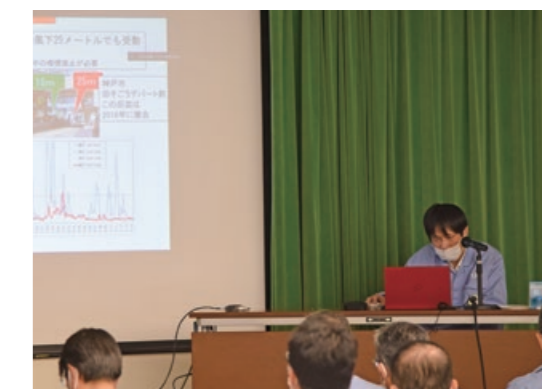
これらの取り組みが評価され、2022年3月に健康経営優良法人(大規模法人部門)に認定されました。今後も健康経営を一層推進し、従業員一人ひとりが毎日充実して働くことのできる職場環境づくりに取り組んでまいります。



「禁煙の日」の制定



健康チェックイベントの開催



健康をテーマとした講演会の実施